

2024年3月31日

「道徳性・向社会性」分科会 2023年度活動報告

「道徳性・向社会性」分科会代表

東北大学 長谷川真里

活動報告

日本発達心理学会第35回大会においてシンポジウムを企画した。

シンポジウムタイトル：「社会性の発達研究の最前線」

日時：2024年3月6日 16：00～18：00

企画主旨および報告：

社会性はヒトという生物種の最大の強みと言われる。これまで社会性の発達は、様々な領域で、ある程度独立して探究されてきた。近年、測定方法や統計手法の開発などにも支えられ、短いスパンで知見がアップデートされている。そのため社会性発達の全体的な動向のみならず、個別領域での最新の知見の把握が困難になっているかもしれない。

本シンポジウムは、社会性の発達は今どのような状況、あるいは転換点にあるのかということを考えていくことを目的とした。多岐にわたるテーマを網羅することは困難なため、ここでは自己制御、他者理解（心の理論）、攻撃性に焦点を当て、動向および具体的な研究を紹介いただいた。そして指定討論からは社会性の発達を俯瞰してのコメントをいただいた。

指定討論およびフロアからの質問を受け、これからの社会性の発達研究の展開について議論した。

発表者一覧：

企画：	道徳性・向社会性	分科会
企画：	長谷川 真里	(東北大学大学院教育学研究科)
企画：	佐久間 路子	(白梅学園大学子ども学部)
企画：	林 創	(神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
司会：	佐久間 路子	(白梅学園大学子ども学部)
話題提供者：	鹿子木 康弘	(大阪大学大学院人間科学研究科)
話題提供者：	中道 圭人	(千葉大学教育学部)
話題提供者：	勝間 理沙	(京都大学教育学研究科)
指定討論者：	平林 秀美	(東京女子大学現代教養学部)

以上